

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	管理者の変更により地域運営推進会議が定期的に行われていないため、地域交流を含めた上で開催をしていく	家族・地域住民が抵抗無く施設に介入できるように働きかけを行う。定期的な地域運営推進会議への取り組み。	イベント等を開催し、気兼ねなく施設に立ち寄れるようにしていく。 定期的な開催に向けて、地域運営推進会議の年間スケジュールをたてる	12ヶ月
2	30	健康管理において、状況報告を御家族へ適時行い、適切な医療提供を行っていく。	ご家族が、入居者様の現状把握が出来るように、関係づくりを行っていく。	月に1度のお便りには、医療状況を細かく記し、定期的に御家族を交えたカンファレンスを行っていく。	6ヶ月
3	33	ターミナルケアへの取り組みと、今後に向けての支援の取り組みを明確化。	現在、対象となるケースは無いが、ターミナルへも取り組みについて検討し、最良の支援をしていく。	グループホームでの役割と、出来ることを明確化し、医療指示の下適切に対応出来るようにマニュアル化しておく。	6ヶ月
4	35	年2回の消防訓練は行っているものの、地域自治体が発足しておらず緊急時の支援連携が図れていない。	緊急時や災害時は、近隣の方々にも協力いただけるよう日々の関係を築いていく。	イベント開催や、施設の取り組みを発信できるようにポスターやビラを作成する。また、避難訓練等の際は、地域住民の方にも参加頂けるように声掛けしていく。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。